

中野区シティプロモーション「中野大好きナカノさん」プロジェクト 大好きな中野区の皆さまへデビュー会見!

2月1日(金)より始動した「中野大好きナカノさん」プロジェクトについて、区から中野区在住・在勤の皆さんへ向けた説明会が行われました。

ご参加いただいたのは19名の皆さん。取り組みの目的や内容、今後の展開など、具体的な説明に熱心に耳を傾けられていました。また質疑応答では疑問点のほか、今後の展開に関する意見なども寄せられるなど、たいへん有意義な会となりました。

終了後には、会場に展示されたナカノさん・ちびナカノさんを実際に手にとってサイズ感や動きを確かめる姿なども見受けられ、和やかな雰囲気の中閉会しました。





プロジェクトについての概要説明

まず冒頭で、「中野大好きナカノさん」プロジェクトの全体像について概要説明があり、プロジェクトにかける期待や立案の経緯、現状の進捗と今後の事業展開などについて説明が行われました。

(登壇者:中野区都市政策推進室 藤永益次副参事)



プロジェクトの目的

「『中野大好きナカノさん』プロジェクトは、中野区シティプロモーションの一環として約2年をかけて取り組んでいく施策であり、具体的には『ナカノミライプロジェクト』との2本柱で取り組んでいきます。こちらは未来の街の担い手を育てる内側の取り組みであり、一方のナカノさんプロジェクトは、広く区内外へ向けて中野の魅力を発信していく事業です。ただし区からの一方的な発信ではなく、ナカノさんを通じて中野区に関わる皆さんと一緒に発信していくプロジェクトになることを目指しています」

具体的な事業展開

「プロジェクトのメイン事業は区公式SNSでの発信であり、現状、インスタグラムはおおよそ2日に1回、ツイッターは毎日更新しています。ツイッターのPR動画は公開後3週間で約4万回再生を記録。ポスターは商店街を中心に4種類展開していて、今後も協力を得てさまざまな場所へ掲出していきたいと考えています。

さらに注力したいのは商店街さんとの連携です。現在は、ナカノさんの分身であるちびナカノさん4体を、協力店にテスト設置してお店のSNSに登場させてもらっていますが、今後は設置協力店を増やし、訪れるお客さまからの投稿も含めて、ちびナカノさんの発信を強化できたらと考えています。ちびナカノさんを通して街の方々とコミュニケーションをとりながら、プロモーションを進めていきます」

現時点の注目度と今後について

「現在、ナカノさんプロジェクトは非常に注目されていると感じます。これまでに雑誌とWEBマガジンで2回特集を組んでいただき、新聞7紙、雑誌1誌、WEBニュースサイト63件の掲載がありました。このプロジェクトの最大の目的は、ナカノさんを通して、皆さんと一緒に中野の魅力発信に取り組んでいくことですので、今後ともご協力をよろしくお願いします」

質疑応答

Q1 どうして人形を採用したのですか。

芸能人など様々なアイデアが挙がりましたが、「多様性のあるまち」を発信するにあたり、無垢なまなざしを通して伝えられる人形が相応しいと判断して採用しました。

Q2 区民にどういった協力を求めていますか。

ちびナカノさんを設置しているお店に足を運んでいただき、区民の方々からもSNSに投稿してもらいたいです。今後は、ナカノさんが出かける先を募集するなど、区民の皆さんに参画してもらいたと考えています。

Q3 ちびナカノさんにも来てもらうための条件等がありますか？

条件面はこれから整理していきますが、例えば、お店でインスタのアカウントを開設してもらって、イベントで活用してもらって、なども考えられるかと思います。貸し出し期間については、ご意見を伺いながら進めていきたいと思っています。

Q4 ちびナカノさんを撮影して、区民個人のアカウントでアップしてもよいのですか？

区だけではなく、区民の皆さんの視点から発信することで、まちの様々な魅力が届けられると考えています。区民個人のアカウントからのアップもお願いしたいです。

Q5 多様性の話はよく理解でき、ナカノさんは無機質でみんなの最大公約数なのだなと感じました。だからこそ個性を持った人たちも自分の想いを乗せていけるような、みんなで共有できるプロモーションとするために、どう実現させていくのですか？

ナカノさんを通して伝わる中野の魅力は発信者によって異なりますが、区がそれを規制することなく、それぞれの区民の視点で発信してほしいと思っています。詳細はこれからになりますが、区としてこういった水準を定めるか検討していきたいです。



Q6 ゆるキャラとは違ってナカノさんは面白いと感じますが、実際は中野区のマスコットキャラクターにしたいのですか？それともそもそも区民への宿題として出題されているのでしょうか？

マスコットキャラクターではありません。ナカノさんは記号みたいなもので、商店街や区民の方々とコミュニケーションを取るキッカケとなるよう作っています。ナカノさんを通してまちが盛り上がるのが大事なので、一番良いのは、これをきっかけに中野区を好きだと感じる区民のみなさんと色々な取り組みをやっていけたらと思います。

Q7 若い世代が利用するインスタグラムのほかに、例えば声優をつけたプロモーションなど他の案も考えているのですか？

若い区民の皆さんに発信してもらいたいと考える一方で、幅広い層の区民の方々にキャラクターを楽しんでほしいと考えています。今のところメインはインスタグラムですが、例えば区民が撮影された写真のフォトブックを中野区のガイドブックにするなどの案も考えられますし、最終的に大勢の皆さんに届く施策にしていきたいと考えています。

Q8 ちびナカノさんだけではなく、ナカノさんは貸し出しを行わないのですか？

ナカノさんはサンプラザに設置していますが、現在貸し出しは想定していません。「ナカノさん」は区公式からの発信で活躍し、「ちびナカノさん」は区民の方々とのコミュニケーション担当としての役割分担を考えています。

Q9 商店街の会議では、みんな今後の展開に関心を寄せていました。約130店舗あるので、ちびナカノさん1体の場合は各店で持ち回りにするなど何かしらの連携をと考えています。個人的には、ゆるキャラでない普通のキャラだから、ナカノさんの見つめる先にある中野の魅力が引き立つと感じました。

連携は非常に嬉しいお話ですので、ご意見などお伺いしながら連携できればと考えています。またおっしゃる通りナカノさんのキャラクターは人それぞれに想像してもらえたらと、外見にはリアルさを追求して、ほくろの有無まで議論しました。人間性を出し愛されるキャラクターになるよう意識しました。

